



平成 25 年 12 月 16 日
内閣府（防災担当）

「国際復興フォーラム 2014 ～災害復興における官民連携～」 の開催について

被災地の復興過程において、より災害に強い社会を構築する「よりよい復興」の実現を目指して、我が国や関係国連機関等の連携により、国際復興支援プラットフォーム（International Recovery Platform：IRP）が、2005 年の国連世界防災会議の成果の一つとして、同年に発足しました。

IRP では、関係機関の協力の下、復興優良事例などの情報提供、地域復興の助言、能力開発などの活動を行っており、この「国際復興フォーラム」も、これらの活動の一環として、発足以来毎年開催しているものです。

今回のフォーラムでは、災害復興における民間部門の役割の重要性をテーマに取り上げ、官民連携や事業継続計画（BCP）、最近の取組事例を交えた発表と議論を行います。

その結果は、2015 年 3 月の第 3 回国連防災世界会議で策定される「兵庫行動枠組」の後継枠組に反映されることが期待されています。

- 1 日 時 平成 26 年 1 月 21 日（火）9:30～17:30
- 2 場 所 兵庫県神戸市（神戸ポートピアホテル 偕楽の間）
- 3 主 催 IRP 事務局、内閣府、兵庫県、アジア防災センター（ADRC）、
国連開発計画（UNDP）、国連国際防災戦略事務局（UNISDR）、
世界銀行
- 4 参加者 各国政府、地方自治体、IRP 構成機関の関係者 等
- 5 会議概要
 - ・基調講演：「これからの企業防災、政府との連携」
（橋本 孝行 経団連防災に関する委員会共同委員長（日本 IBM 会長）
「米国の復興枠組における民間部門の役割」
（エリザベス・ジーマン 米国 FEMA 応急対応・復興担当副長官補）
「フィリピンにおける防災体制と復興～最近の事例より～」
（ロメオ・ファハルド フィリピン国防省市民防衛局副局長）
 - ・プレゼンテーション：防災・復興における官民連携
 - ・パネルディスカッション
- 6 取材について
取材は随時可能です。なお、TV カメラの撮影位置などは主催者の IRP 事務局担当者の指示に従ってください。
取材を希望される場合は、IRP 事務局宛てに事前にお問い合わせください。
IRP（International Recovery Platform・国際防災復興協力機構）事務局
担当：河内、赤松 TEL: 078-262-6041 E-mail: info@recoveryplatform.org

＜本件問い合わせ先＞
内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（普及啓発・連携担当）付
大江、渋谷 TEL 03-6205-7927 FAX 03-3581-7510